

令和5年度 後期 四国大学開放授業

本学では学生が日常学んでいる授業の一部を、地域一般社会人や高校生の皆様に開放することで、教育活動のPRと地域教育力の向上に資することを目的とし開放しています。後期に開放する授業は次の表のとおりです。

*** 受講希望の方は、「四国大学開放授業(後期)申込書(ハガキ)」の希望する授業の希望欄に「○」を記入し、令和5年8月24日(木)【消印有効】までに郵送(コピーしてFAX可)又は直接窓口までお申し込みください。**

*** 希望者が定員より多い場合は、先着順とさせていただきます。**

*** 受講が決定された方には、ご案内等を9月8日(金)頃に発送する予定です。**

*** 曜日・時限(時間)は、都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。**

《連絡事項》

*** 開放授業科目の受講生には、成績評価(単位認定)は行いません。**

*** 受講が決定した方には「開放授業受講時の諸注意」を送付いたしますので、内容の確認をお願いします。**

*** 申し込み後キャンセルをする場合は、9月8日(金)正午までに四国大学生涯学習センターへご連絡ください。**

令和5年度 四国大学大学教育開放授業に係る学部等指定授業科目一覧

【後期】 14科目

	学部等	学科・専攻	学年	授業科目	担当教員	受入可能 受講生数
1	文学部	日本文学科	2	近代文学講読(児童文学を含む)	館 健一	5
2	文学部	書道文化学科	2	中国文学講読	太田 剛	5
3	経営情報学部	経営情報学科	3	金融論	臼井 正樹	5
4	経営情報学部	メディア情報学科	1	映像メディア論	山本 耕司	5
5	経営情報学部	メディア情報学科	2	マルチメディア論	長沼 次郎	5
6	生活科学部	健康栄養学科	2	給食経営管理論Ⅰ(基礎)	辻 博子	3
7	看護学部	看護学科	1	女性学	永吉 円	5
8	看護学部	看護学科	2	看護史・制度論	池田 恵美子	5
9	短期大学部	ビジネス・コミュニケーション科	2	財務会計	伊賀 裕	5
10	短期大学部	音楽科	2	ポピュラー音楽の歴史と民族音楽	小田原 令幸	3
11	全学共通教育センター	全学共通教育センター	1	物理学基礎	奥村 英樹	5
12	全学共通教育センター	全学共通教育センター	1	東洋の歴史と思想	太田 剛 他2名	5
13	全学共通教育センター	全学共通教育センター	1	地域未来探求	高橋 啓子 他8名	5
14	全学共通教育センター	全学共通教育センター	2	日本の歴史と思想	吉岡 直人	5

1	科 目 名	近代文学講読(児童文学を含む)		
	担 当 講 師	館 健一 (文学部 日本文学科)		
	開講期間・回数	10/2 ~ 1/29 (全15回)	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	月曜日 2限目 (10:40~12:10)	受講教室	F201
	使 用 テ キ ス ト	プリントを配布します。		
	概 略	1. 近代児童文学の史的流れを概観する。各時代の代表的な作品を検討し、その理論・方法を把握する。 2. 近代文学(主に純文学)の代表的な作品を<作品論>的に様々な視点から検証する。 3. 作品とは何か、作品を読む・学ぶとはどういうことか等の問題も考える。		
	履 修 に つ い て	マナバコースを使用するため、PCやスマートフォンを要する。また、課題提出にはWordの基本操作を身につけていることが望ましい。		

2	科 目 名	中国文学講読		
	担 当 講 師	太田 剛 (文学部 書道文化学科)		
	開講期間・回数	9/28 ~ 1/25 (全15回)	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	木曜日 4限目 (14:40~16:10)	受講教室	F101
	使 用 テ キ ス ト	教師の作成したプリントを中心とする。		
	概 略	中国の書道作品には、中国文学として必ず知っておくべき有名な漢詩や名文が使われていることが多い。また日本の古い作品や掛軸、身近にある漢文の石碑も、重要な歴史や物語を記録している。中国の有名な書道作品に使われている漢文を7点、また日本の書道作品を数点、徳島県の石碑に使われている漢文数点を、内容を訓読し、時代背景や関係人物の詳細を知った上で、現代語訳で読み理解する。特に重要な漢文法を含む文は、取り出してその仕組みを詳しく解説する。		
	履 修 に つ い て	高等学校で学ぶ基本的な返り点の理解が必要です。		

3	科 目 名	金融論		
	担 当 講 師	臼井 正樹 (経営情報学部 経営情報学科)		
	開講期間・回数	9/28 ~ 1/25 (全15回)	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	木曜日 4限目 (14:40~16:10)	受講教室	N307
	使 用 テ キ ス ト	テキストは特に使用せず、必要に応じて、プリントを配布します。		
	概 略	金融とは「経済の中を流れる血液のようなもので、経済活動の継続・成長に不可欠な機能を果たすもの」と説明されることが一般的です。しかし、金融はこうしたプラスの側面を持つ反面、誤使用すると経済を壊すという「負の効果」をもたらすという側面も持っています。一例としてあげれば、バブル崩壊と日本の金融危機、あるいはリーマンショックと世界同時不況などはその典型例です。いずれも、金融機能が暴走した結果、経済に大きな傷跡を残した事例ともいえます。金融は、使い方次第で“毒”にも“薬”にもなる両刃の剣なのです。この講義は、上記のような金融機能の表と裏、あるいは光と影を具体例を用いて体系的に理解することを目指します。		
	履 修 に つ い て	講義用のスライドは、講義終了後に、マナバコースに掲載します。教室変更等の諸連絡もマナバコースを利用して行います。		

4

科 目 名	映像メディア論		
担 当 講 師	山本 耕司（経営情報学部 メディア情報学科）		
開講期間・回数	9/26 ～ 1/30（全15回）	受講定員	5名
曜 日・時 限	火曜日 3限目（13:00～14:30）	受講教室	U151
使 用 テ キ ス ト	使用しない。		
概 略	コンピュータやデジタルビデオカメラの普及にともなって、個人でも高画質な映像表現ができるようになってきた。また、ブロードバンド環境が整う中、動画作品がストリーミング技術などを利用してインターネット上で配信されている。このように、ネット配信が台頭することで、テレビ放送を取り巻く状況は大きく変化し、今や放送とネットが融合する時代を迎えている。本授業では、放送の現状を把握し、ネットの可能性と課題を考える。その上で、コンテンツの重要性を意識し、映像表現とその記憶・伝達方式を理解する。そして、番組制作とCM広告、映像制作の基礎について学ぶ。本科目は、映像コンテンツとそのビジネスについて学習を進めていく上での入門科目である。		
履 修 に つ い て	ネットワーク上に講義のレジュメや資料をおいたり、アンケートを実施したりすることがあります。授業に持参する必要はありませんが、自宅でもネットワークにつながるPCがあり、ダウンロード等ができることが履修の条件です。		

5

科 目 名	マルチメディア論		
担 当 講 師	長沼 次郎（経営情報学部 メディア情報学科）		
開講期間・回数	10/2 ～ 1/29（全15回）	受講定員	5名
曜 日・時 限	月曜日 1限目（9:00～10:30）	受講教室	U106
使 用 テ キ ス ト	なし		
概 略	映像、音楽、画像、音声、文字などのマルチメディアは、コンピュータとインターネットに基づく高度情報化社会における我々の日常生活に不可欠なものである。本講義では、マルチメディアの特徴や形態などの基礎から、映像処理や音声処理などのマルチメディアの処理技術、それらを効率良く実装するための基本実現技術まで幅広く学びます。典型的な応用例として、地デジやIPTVなどのデジタル放送や、テレビ電話・会議などの映像コミュニケーションについて紹介し、マルチメディアの将来動向についても示す。		
履 修 に つ い て	授業の案内でマナビコースやポータルを使用します。スマホが利用できることが必要。		

6

科 目 名	給食経営管理論Ⅰ（基礎）		
担 当 講 師	辻 博子（生活科学部 健康栄養学科）		
開講期間・回数	9/28 ～ 1/25（全15回）	受講定員	3名
曜 日・時 限	木曜日 1時限（9:00～10:30）	受講教室	A408
使 用 テ キ ス ト	【書 名】エッセンシャル給食経営管理論―給食のトータルマネジメント―第4版 【著者名】富岡和夫 富田教代 編著 【定 価】3,100円＋税 【発行所】医歯薬出版株式会社		
概 略	特定給食施設において給食業務に携わる管理栄養士は、栄養、食品、衛生、調理など「食」に関する学問の幅広く正確な知識を持つとともに、給食をマネジメントする能力が求められる。本講義は、給食業務における基本的な仕事の流れを理解し、給食運営の合理的な管理能力を身につけることを目的としている。さらに、実際に給食現場で必要とされる「給与栄養目標量」や「食品群別荷重平均成分表」などの作成方法について演習する。		
履 修 に つ い て	授業のスライドや配布資料はマナビコースに掲載しますので、パソコンやスマートフォンを利用して活用して下さい。		

7	科 目 名	女性学		
	担 当 講 師	永吉 円（看護学部 看護学科）		
	開講期間・回数	9/26 ～ 11/21（全8回）	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	火曜日 4限目（14:40～16:10）	受講教室	A409
	使 用 テ キ ス ト	加藤秀一『はじめてのジェンダー論』（有斐閣、2017）（1,800円+税）		
	概 略	授業では、フェミニズム運動から生まれてきた女性学、そしてジェンダーや多様な性(LGBTQ)について学んでいきます。昨今では、女性・男性、性的指向・ジェンダーアイデンティティーに関わらず、すべての人がそれぞれの能力を発揮し活躍できる社会が求められます。正しい知識をもつことで、新たな視点で、社会の疑問についても考えてみましょう。最後の授業では、女性学・ジェンダーの視点から疑問に思ったことをグループで調べ、自由に発表してもらいます。授業の目標は、女性学を学ぶことで新しい視点で考え行動を起こすことに繋がっていくことです。多くのご参加をお待ちしています。		
	履 修 に つ い て	授業を受講する際の要件はありません。興味のある方はご参加ください。		

8	科 目 名	看護史・制度論		
	担 当 講 師	池田 恵美子（看護学部 看護学科）		
	開講期間・回数	9/26 ～ 11/14（全7.5回）	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	火曜日 5限目（16:20～17:50）	受講教室	A402
	使 用 テ キ ス ト	杉田暉道:系統看護学講座 別巻,看護史,第7版,医学書院,2021 ISBN番号:078-4-260-02279-8 2200円		
	概 略	授業では、日本の看護とそれに影響を与えた外国の看護を、社会の変化に応じてどのように移り変わってきたかを含めて学びます。具体的には、宗教や戦争、医学の発展が看護にどのように影響を与えてきたかを考えます。さらには、看護職という仕事が日本で生まれた経緯を理解し、医療福祉制度の中で看護職に期待されている役割や能力について、多角的な視点から考えることのできる力を養います。		
	履 修 に つ い て	学生はマナビコースでの感想記入を基本にしますが、開放講座の受講生には紙の感想用紙を用意します。		

9	科 目 名	財務会計		
	担 当 講 師	伊賀 裕（短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科）		
	開講期間・回数	10/2 ～ 1/29（全15回）	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	月曜日 2限目（10:40～12:10）	受講教室	T309
	使 用 テ キ ス ト	桑原知之著「日商簿記2級とおるテキスト商業簿記【第3版】」 （ネットスクール出版、2022）定価:2,000円+税 桑原知之著「日商簿記2級とおるトレーニング商業簿記【第3版】」 （ネットスクール出版、2022）定価:2,000円+税		
	概 略	簿記会計は「企業の言語」と言われます。簿記会計を理解することで、企業・経営についての理解が深まります。本講義では、簿記の初学者が簿記の基礎を理解し、その後中級レベルの簿記へ進むための内容となっています。中級レベルの簿記は中規模株式会社の簿記を前提としますので、日商簿記検定2級（商業簿記）の基本的な部分を学修します。		
	履 修 に つ い て	電卓が必要となりますので、各回必ず携帯すること。		

10	科 目 名	ポピュラー音楽の歴史と民族音楽		
	担 当 講 師	小田原 令幸（短期大学部 音楽科）		
	開講期間・回数	9/28 ～ 1/25（全15回）	受講定員	3名
	曜 日 ・ 時 限	木曜日 3限目（13:00～14:30）	受講教室	D216
	使 用 テ キ ス ト	教科書は使用しない。		
	概 略	<p>前半～中盤はポピュラー音楽（主にロックミュージック）の歴史について、映像資料を用いて学びます。時代ごと・国ごとのアーティストやムーブメントについて、文化・社会情勢・テクノロジーなどの多角的視点も交えつつ紹介します。</p> <p>後半は世界の民族音楽について学びます。歴史や文化背景だけでなく、音楽理論や器楽的な特徴にも触れつつ解説します。</p>		
	履 修 に つ い て	授業に関する連絡、毎回の授業メモの提出にマナバコースを使用します。スマートフォンと筆記用具が必要です。		

11	科 目 名	物理学基礎		
	担 当 講 師	奥村 英樹（生活科学部 児童学科）		
	開講期間・回数	9/29 ～ 1/26（全15回）	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	金曜日 3限目（13:00～14:30）	受講教室	A306
	使 用 テ キ ス ト	必要に応じてプリントを配布します。		
	概 略	<p>高校で物理を学んでいないことを前提に、説明します。</p> <p>「物理」というと難しそうですが、大切なのは現象を「イメージ」することです。</p> <p>例えば「速さ」。私たちは「速さ」を比べるとき、100m走など「決めた量をこなす時間」で比べるか、心拍数のように「決めた時間にこなす量」のどちらかを使います。しかし、物理学では後者の方法で「速さ」を扱います。なぜなら、「倍の速さ」であれば「こなす量」も倍になり、イメージしやすいからです。</p> <p>この授業では単なる公式の説明にせず、「物理ではなぜそのように考えるか」を解説しながら進めていく予定です。</p>		
	履 修 に つ い て	授業では、資料をマナバコースで配布し、出欠確認にはレスポンスを使います。そのため、スマホまたはタブレットPCをお持ち下さい。		

12	科 目 名	東洋の歴史と思想		
	担 当 講 師	太田 剛 他2名		
	開講期間・回数	9/28 ～ 1/25（全15回）	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	木曜日 1限目（9:00～10:30）	受講教室	A306
	使 用 テ キ ス ト	授業時にプリントを配布する。		
	概 略	<p>日本が有史以来最も大きな影響を受けてきた隣接地域は、中国と朝鮮半島である。本講義は、主として日本とこれらの地域との関係史と思想的影響を学ぶ。この地域は経済力と知力に優れ、今後の世界全体にとっても極めて大きな存在である。また隣国との関係を学ぶことは、日本人自身の内面の実態を知るとともに、インパウンドとしても重要な両地域の人々の基本的な考え方を知り、今後の付き合い方を知ることにつながる。授業はこの分野の専門家である3名の講師によって、オムニバス形式で、主としてパワーポイントによって実施する。（オリエンテーション1時間、朝鮮半島5時間、中国古代5時間、中国近現代4時間）授業の毎時間の感想文によって受講生の理解度ををはかる。</p>		
	履 修 に つ い て	一般学生はマナバコースでの感想記入を基本にしますが、開放講座の受講生には紙の感想用紙を用意します。		

13	科 目 名	地域未来探求		
	担 当 講 師	高橋 啓子 他8名		
	開講期間・回数	9/29 ～ 1/26 (全15回)	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	金曜日 2限目 (10:40～12:10)	受講教室	U154
	使 用 テ キ ス ト	教科書は使用せず、授業ごとに資料を配布。		
	概 略	<p>地域未来探求は“豊かな生活を送るために”をテーマに、食生活、医療、子育て、高齢者対策、芸術・健康作りのためのスポーツの5分野に関わる徳島県の現状を学びます。それぞれの専門的立場から9名の先生方が担当するオムニバス授業です。授業はmanaba courseやresponを利用したり、ディスカッションを行うなどアクティブラーニングを取り入れて実施します。到達目標は「地域における私たちの暮らしを取り巻く環境を理解することができる」「学習内容を理解し、生活に活用することができる」とともに、未来の地域づくりに参画し、その魅力を語る可以做到」です。経験豊富な先生方から徳島の現状を学び、課題を探りながら、課題解決能力を培い、輝かしい未来生活を創造しましょう。</p>		
	履 修 に つ い て	manabacourseを使用して授業を実施します。スマートフォンまたはタブレット、パソコン等を準備してください。授業に使用する資料は前日までに、manabacourseに提示されますので、準備しておいてください。		

14	科 目 名	日本の歴史と思想		
	担 当 講 師	吉岡 直人 (文学部 日本文学科)		
	開講期間・回数	9/29 ～ 1/26 (全15回)	受講定員	5名
	曜 日 ・ 時 限	金曜日 2限目 (10:40～12:10)	受講教室	A303
	使 用 テ キ ス ト	教科書は特に使用しません。テーマごとにプリントを配付します。		
	概 略	<p>高校まで学んできた日本史では、教科書に書かれた内容を覚えることが中心です。覚えるのが苦手で日本史を敬遠している人もいるかもしれません。あるいは過去のことを覚えても今の生活に関係ないと漠然と考えている人もいるかもしれません。そう結論を急がず、教科書がいったいどのような根拠に基づいて書かれているかを少し考えてみましょう。そうすれば、歴史の見方も少し変わってきます。また高校の歴史では、政治史や文化史は別々に学習していたと思いますが、政治史と文化史を一体的に捉えることで歴史の面白さも見えてきます。</p> <p>この講義では、高校までの覚える日本史から一歩進んで、考える日本史を目指します。過去の出来事を調べ、その変遷をみるという方法がどういうものなのかを示していきます。</p>		
	履 修 に つ い て	受講にあたって、PCなど特別な準備は必要ありません。		

新型コロナウイルス感染防止対策における マスクの着用について

四国大学では、基本的な感染症対策は継続しながら、一律にマスクの着用を求めず、個人の判断を基本とします。ただし、実習・実験などを含む授業の中で、授業担当者からマスク着用を要請することがありますので、その場合はご協力をお願いいたします。

なお、混雑したスクールバスに乗車する際は、マスク着用が効果的とされています。また、手指消毒用のアルコール消毒液は、校舎入口及び廊下等に設置しておりますのでご利用ください。

講座内容についての問合せ先

四国大学 教育・学生支援部 教育支援課
〒771-1192 徳島市応神町古川
TEL 088-665-9922

受講申込みについての問合せ先

四国大学 生涯学習センター 事務室
〒770-0831 徳島市寺島本町西二丁目35-8
四国大学交流プラザ内
TEL 088-602-4858 (直通)
FAX 088-602-4861

お問い合わせ

四国大学 交流プラザ
生涯学習センター 事務室

〒770-0831 徳島市寺島本町西二丁目35-8

TEL 088-602-4858(直通)

FAX 088-602-4861

〔電話による問い合わせ時間〕

午前9時～午後6時(月曜午後・特別休館日を除く)

切り取ってご利用ください。

キリトリ線

郵便はがき

63円切手を
お貼りくだ
さい

770-0831

徳島市寺島本町西二丁目三五―八

四国大学交流プラザ

生涯学習センター事務室 行

(四国大学開放授業申込)

キリトリ線

開放授業をお申し込みの際は下の
ハガキをご利用ください。
(コピーしてFAXでも可)

古川キャンパスで開設する授業科目の内、開放する授業の受講を希望される方は希望欄に○を記してください。

電話番号及びメールアドレスは、緊急の場合にのみ使用します。

切り取ってご利用ください。

✂ キリトリ線

四国大学開放授業(後期)申込書

希望する授業の名称	希望欄	希望する授業の名称	希望欄
近代文学講読（児童文学を含む）		看護史・制度論	
中国文学講読		財務会計	
金融論		ポピュラー音楽の歴史と民族音楽	
映像メディア論		物理学基礎	
マルチメディア論		東洋の歴史と思想	
給食経営管理論Ⅰ（基礎）		地域未来探求	
女性学		日本の歴史と思想	

次の項目についていずれかに○印を付けてください。

●古川キャンパスに自家用車を利用 する しない

住所

三

フリガナ

氏 名

生年月日

大. 昭. 平. 年 月 日

電話番号

メールアドレス

✂
キリトリ線